

作成日: 2023/05/09

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: CUBIC-R+(M)

製品番号 (SDS NO): CSCR004

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 組織透明化

使用上の制限: 研究用途以外には使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社CUBICStars

住所: 〒839-0864福岡県久留米市百年公園1番1号

電話番号: 03-6262-5520

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分1(血液)

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 皮膚刺激。強い眼刺激。臓器(血液)の障害。

安全対策: ミスト/蒸気を吸入しないこと。取扱い後は皮膚をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置: 皮膚に付着した場合は多量の水で洗うこと。眼に入った場合は水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。ばく露又はばく露の懸念がある場合は医師に連絡すること。

保管: 施錠して保管すること。

廃棄: 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性: 知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名	CAS登録番号	含有量 (% w/w)	化審法(ENCS)番号
アンチピリン	60-80-0	40以上50未満	9-1252
N-メチルニコチンアミド	114-33-0	30以上40未満	9-954

4. 応急措置

一般的な措置

医学的な助言が必要なときには、このSDS、製品容器やラベルを持っていくこと。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣服を脱がせ、石けんと多量の水で洗い流し、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

最も重要な徴候症状

皮膚刺激、強い眼刺激、臓器の障害。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。人々を安全な場所に避難させ、安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を排除くとともに換気を行う。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適切な吸収材にできるだけ吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。十分な換気を確保し、必要に応じ局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼及び衣服との接触を避け、保護具を着用する。取扱い後は手及び顔をよく洗う。

接触回避

強酸化性物質との接触を避けること。

保管

容器を密閉し、遮光された冷所で施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界／許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策

排気／換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い／洗顔設備を設ける。

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性保護服。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡黄色

臭い：わずかなアミン臭

臭いの閾値データなし

融点／凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：溶ける

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール／水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び／又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件／取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

データなし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

データが不足しているので分類されない。

[製品]

経口: 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg

方法: 計算による方法

[成分データ]

アンチピリン

急性毒性(経口): LD50(ラット): 1,705 mg/kg

アセスメント: 飲み込むと有害

急性毒性(その他の経路): LD50(マウス): 750 mg/kg

投与経路: 腹腔内注射

LD50(マウス): 500 mg/kg

投与経路: 静脈内

LD50(マウス): 1 g/kg

投与経路: 皮下

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

皮膚刺激性。

[成分データ]

アンチピリン: 皮膚刺激性

N-メチルニコチンアミド: 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

強い眼刺激

[成分データ]

アンチピリン: 眼への刺激

N-メチルニコチンアミド: 眼への刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性

臓器（血液）の障害。

[製品]

標的臓器: 血液

アセスメント: 臓器の障害

[成分データ]

アンチピリン: 血液

アセスメント: 臓器の障害

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

アンチピリン:

魚毒性: LC50 (*Oryzias latipes* (和メダカ)): > 100 mg/l

暴露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性: EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l

暴露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性: EC50 (*Selenastrum capricornutum* (緑藻)): 490 mg/l

暴露時間: 72 h

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

[成分データ]

アンチピリン: n-オクタノール／水分配係数: 0.23

(log 値)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。